

【デンパサール総領事館注意喚起：年末年始の安全対策】

●世界各地においてイスラム過激派等によるテロ事件が発生している中、特に、年末年始にかけては、様々なイベント等に集まる不特定多数の人々を標的とするテロの発生が懸念されます。

●当地においては、今のところテロ等に関連した具体的な情報はありますが、引き続き、最新の治安情勢等の関連情報を入手し、特にテロの標的となりやすい場所を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる等、安全確保に十分注意を払ってください。

バリ及び NTB・NTT 州にお住まいの皆様へ

平成28年12月19日(総16第26号)

在デンパサール総領事館

1 世界各地においてイスラム過激派等によるテロ事件が発生している中、特に、年末年始にかけては、様々なイベント等に集まる不特定多数の人々を標的とするテロの発生が懸念されます。

2 インドネシアにおいては、1月にはジャカルタ中心部における爆弾・銃撃テロ事件、7月にはソロ(スラカルタ)警察署における自爆テロ事件、8月にはメダンの教会における司祭襲撃事件、10月にはタンゲランにおける警察官襲撃事件、11月には東カリマンタン州サマリダの教会への火炎瓶投擲事件、12月には大統領宮殿を狙った自爆テロ未遂事件が発生しました。

3 テロはいつでもどこでも発生する可能性があります。引き続き、最新の治安情勢等の関連情報を入手し、日頃から危機管理意識を高く持つよう努め、特にテロの標的となりやすい場所(ナイトクラブなど多くの欧米人が集まる場所、ショッピングモール等不特定多数が集まる場所、政府・警察関係施設、宗教関連施設等)を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる等、安全確保に十分注意を払ってください。